

Xanthomonas manihotis由来の $\alpha(1-3,6)$ ガラクトシダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1279

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アルファ-ガラクトシダーゼは、グリコリピッドおよびグリコプロテインから末端のアルファ-ガラクトシル部分を加水分解するグリコシド加水分解酵素です。これはGLA遺伝子によってコードされています。アルファ-ガラクトシダーゼの2つの組換え型は、アガルシダーゼアルファ（INN）およびアガルシダーゼベータ（INN）と呼ばれています。

別名 アルファ-ガラクトシダーゼ; ガラクトシダーゼ; EC 3.2.1.22; GLA; GALA; メリビアーゼ; α -D-ガラクトシダーゼ; α -ガラクトシダーゼ A; α -ガラクトシド ガラクトヒドロラーゼ

製品情報

| | |
|------|--|
| 種 | ザントモナス・マニホティス |
| 由来 | E. coli |
| 形態 | 50 mM NaCl、20 mM Tris-HCl (pH 7.5 25°C)、および1 mM Na ₂ EDTA。 |
| 分子量 | 70000 daltons |
| 純度 | > SDS-PAGEによって95%決定される |
| 活性 | 137,000 ユニット/mg |
| 濃度 | 4,000 ユニット/ml |
| 単位定義 | 1単位は、1 nmol Gal α 1-3Gal β 1-4Gal-7-amino-4-methyl-coumarin (AMC) の末端の α -D-ガラクトースを95%以上切断するのに必要な酵素の量として定義され、37°Cで1時間、総反応体積10 μ lで行われます。 |

保管・発送情報

保存方法 推奨保存温度は4°Cです。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。